

社会福祉協議会の状況

令和3年4月現在

設立年月

平成22年4月16日

会 長	清水 清三		副会長	明官忠雄、竹林昌紘、種五順一 齊藤潔雄、鷲塚博史	
事務局所在地	地区センター内・公民館内・ <u>その他（会長、事務局長宅等）</u> ○をお願いします				
事務局 TEL	—	事務局 FAX	—	事務担当	杉森 哲夫
人 口	12,624 人	世帯数	5,693 世帯	高齢化率	25.4 %
当年度予算額	1,702,043 円	年間会費 (1世帯)	135 円		

主な活動等

- 各町内に福祉役員を設置し、福祉のネットワークづくりで福祉のまちづくり
令和3年4月から各町内に福祉担当役員を設置(前年度より7町内増加)することができ、福祉推進員は21町内の内14町内設置(前年度より3町内増加)することができました。
福祉推進員設置の14町内のうち6町内でケアネット活動を実施しています。
- 小地域に密着した「ふれあいいきいきサロン・サークル」の推進
小集団活動で元気を創出し「健康寿命の延伸」につなげるために、現在16サロンが活動し当協議会で遊具等を購入して貸出をしています。
- 各種団体の結束で共生社会の推進
障がいのある子供も地域の一員として参加できる①芝桜を見る会、②123m花畑を見る会、③さつま芋堀に誘って交流し地域共生の輪を広めています。
- 異世代交流活動の推進
次世代を担う児童と各種団体の役員が交流を深めるために、異世代交流野外塾(前年度は呉羽青少年の家で「うどんづくり」を体験)を開催しています。
- 子供育成活動の推進
学校との連携を図り、各種団体と児童(生徒)の交流で体験学習や知識の向上を目指し、花壇づくり(123m花畑)、さつま芋作り、囲碁将棋クラブ活動の支援及び囲碁将棋教室、異世代交流囲碁将棋大会などの開催をしています。
- 広報誌の作成(年3回:A4で2ページ)
新庄北社会福祉協議会で活動したものを掲載し、地区に全戸配付しています。



共生社会の交流会(芝桜を見る会とさつま芋掘り)

異世代交流野外塾

会長のメッセージ
新庄北社会福祉協議会では、平成26年からケアネット活動を開始し、現在21町内のうち6町内が活動していますが、この活動を新庄北校区全体に広めたいと考えています。